

2021年2月5日

関係各位

千代田化工建設株式会社
 IR・広報・CSR部

炭素循環社会実現に向けた三菱商事株式会社、米国 Blue Planet Systems Corporation との協業契約
 締結について

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、社長:山東 理二、以下「当社」)は、コンクリート原料である骨材製造に CO₂ を原料として利用する技術の開発と事業化に向け、技術を保有する米国 Blue Planet Systems Corporation(以下「BP 社」)、および三菱商事株式会社(以下「三菱商事(株)」)の3社で協業契約を締結したことをお知らせいたします。

BP 社は 2012 年の創業以来、排気ガス等に含まれる CO₂ を炭酸カルシウムとして固定化し、コンクリート原料である骨材を製造する技術の開発とその事業化に取り組んでいます。

三菱商事(株)は、BP 社と協業契約を締結(2020年9月23日プレスリリース)しており、本技術の開発と事業化を推進しています。

CO₂ の削減は気候変動対策として非常に重要であり、CO₂ を資源として捉えて回収する「カーボンリサイクル技術」の開発が世界中で求められています。

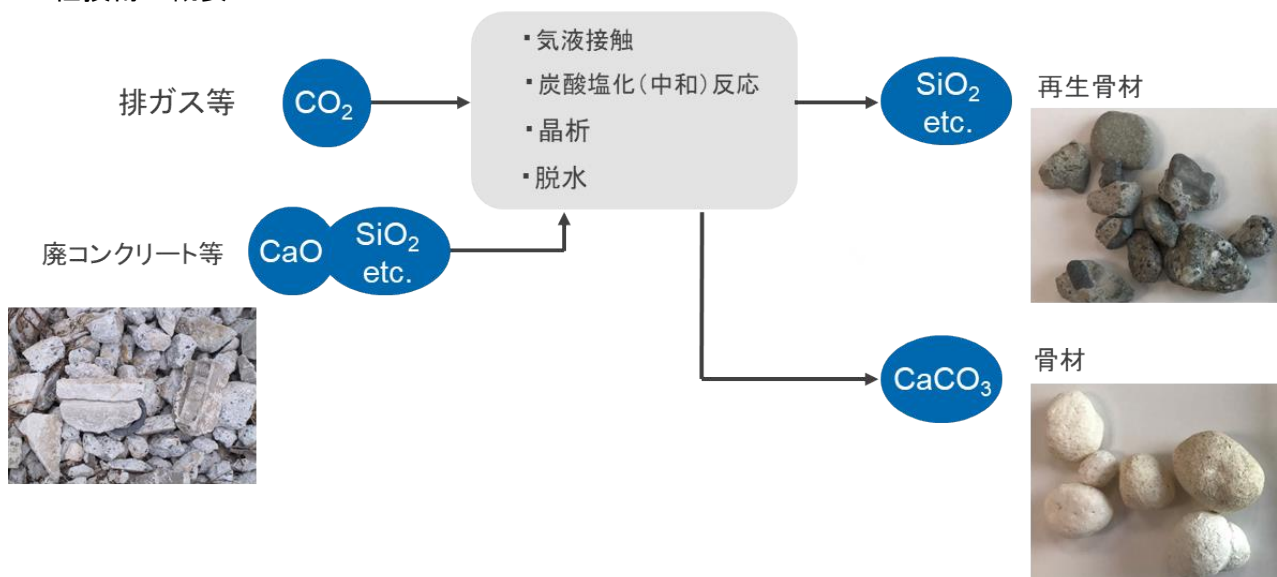
本協業において、当社はカリフォルニア州シリコンバレー地区で計画されている実証事業に参加し、当社の持つエンジニアリングや化学工学の知見を活かして、技術の確立と事業化を推進して参ります。

なお当社は、今回の CO₂ の炭酸塩化の分野以外にも、合成ガスの分野(注1)や電解還元分野(注2)においても既に積極的な取り組みを進めており、カーボンリサイクル社会の実現に向けた様々な取り組みをより一層強化させていきます。

(注1):2020年7月14日付「CO₂ からパラキシレンを製造するための技術開発」

(注2):2020年9月9日付「電気化学プロセスを主体とする CO₂ 大量資源化システムの開発」

・BP 社技術の概要



BP 社の創設者兼 CEO の Brent Constantz 氏のコメント

BP と千代田化工は BP の Carbon mineralization 技術の商用化について共に協力していく予定である。千代田化工は BP とパートナーシップを結んでいる三菱商事のエンジニアリングパートナーであり、千代田化工の豊富なエンジニアリング知見は、三菱商事が進める年間数ギガトンもの CO₂ をコンクリートの合成石灰石骨材として固定化させる BP 社技術の商用化を加速させるものとなるであろう。

Blue Planet Systems Corporation 概要

- ・設立; 2012 年
- ・本社; 100 Cooper Ct., Suite A Los Gatos, CA 95032
- ・代表者; Brent Constantz
- ・事業概要; CO₂ 活用コンクリート原料の製造・技術開発

三菱商事株式会社 概要

- ・創立; 1954 年
- ・本社; 東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号
- ・代表者; 垣内 威彦
- ・事業概要; 天然ガス、総合素材、石油・化学、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の 10 グループ体制で幅広い産業を事業領域として多角的なビジネスを展開

千代田化工建設株式会社 概要

- ・設立; 1948 年
- ・本社; 神奈川県横浜市西区みなとみらい四丁目 6 番 2 号
みなとみらいグランドセントラルタワー
- ・代表者; 山東 理二
- ・事業概要; 総合エンジニアリング事業 (ガス、電力、石油、石油化学、一般化学、医薬品等の設備並びに公害防止・環境改善・保全及び災害防止用等の設備に関するコンサルティング、計画、設計、調達、施工、試運転及びメンテナンス等、石油・天然ガスその他鉱物資源の開発、関連事業に関する投融資)

以上

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・CSR 部 塚本 / 池尻

電話: 045-225-7734 FAX: 045-225-7748

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>